

第71回大阪府立園芸高等学校入学式

学校長式辞

木々の芽は日を遡うごとに、柔らかなみどりに包まれ満開の花に浮き立つ今日の良き日、大阪府立園芸高等学校 第71回入学式を挙行するにあたり、大阪府教員庁ご代表 和田 文孝様を始め多数のご来賓の方々並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛なうちにも心温まる入学式を挙行できますことは大きな喜びであります。ご臨席の皆様には心よりお礼申し上げます。

ただ今入学を許可された203名の新入生の皆さん、ご入学おめでとう。在校生、教職員一同、皆さんを心より歓迎いたします。また、保護者の皆様には、お子様が夢を持ち、本校に入学されたことを心よりお喜び申し上げます。

さて、新入生の皆さん。今日から皆さんは、伝統ある園芸高校生として農業について学んでいきます。農業は国民生活の基盤です。食料の安全供給、国土や環境の保全、文化の伝承など、改めて農業の果たす役割に大きな価値を見出す動きは近年着実に増大しています。同時に本校のような農業高校に求められている期待も大きくなっています。皆さんには、この期待に応えるべく、農業に関する基礎を学び、これからの日本農業の進むべき方向について考えることのできる人材に育ってほしいと願っています。

そのために、皆さんに必ず取り組んでほしいことがあります。それは、今日から始まる学校生活の中で常になぜ、どうしてだろうという感覚を持ってほしいということです。日頃の授業、勉強を真面目に取り組むことは高校生として当たり前です。その当たり前に取り組んでいく中でもう一步進んでほしいのです。たとえば、実習で作物を栽培します。先生の指示通りに作業を行えば、そこにはある作物が育ちます。けれど、よく観察してみると必ず一本として同じものはないはずです。中には商品として価値のないものもあるかもわかりません。その時点でなぜなんだろう？土の違い、いや日当りの違い？このような考え方、視点を持ってほしいのです。そして、未熟でもいいからその疑問の解決に取り組んで欲しいのです。この力を育てるのが園芸高校の教育の一つの方向です。

園芸高校には、皆さんがこの力をつけるための環境が多く備わっています。

様々な作物の栽培や試験に取り組める広大な農場、高等学校ではあまり設置されていない電子顕微鏡やDNA

シーケンサに代表される高価な機器があり、それを使用して高度な研究に取り組むことができます。今年で5年目を迎えたスーパーサイエンスハイスクール事業も大きな力となるでしょう。そして、何より皆さんの一番の力になるのは、温かく時には厳しく指導をしてくれる本校の教員です。皆さんがアクションを起こせば、必ず支え導いてくれます。これらの素晴らしい環境を十分に活用して、自ら学び、考え、取り組み、判断できる社会人になってください。

そして、もう一つ園芸高校の教育がめざす方向があります。それは毎日、生き物、自然を相手に学んでいくことで、環境を大事にし、相手を思いやる心を身につけた人間を育てることです。今、世間で起こっている凄惨な事件もこの心があればなくなるはずでです。毎日、真剣に勉学に取り組めば皆さんにはこの力が身に付きます。そして、放課後には農業クラブや生徒会クラブに積極的に参加し、最後の高校生活をより良いものしてください。少しお願いばかりになりましたが、先ほどの問題解決力を持ち、心優しい思いやりのある本当の意味での生きる力をもった社会人に育ってください。

さて、本年度には全国の農業高校の甲子園ともいわれる全国大会が大阪で開催され、本校も重要な役割を担います。皆さんの先輩たちは、数年も前からこの準備を行ってきました。他の府県と比べても学校数や生徒数が圧倒的に少なく、大きな困難が予想されます。これを乗り越えられるかどうかは、皆さんの動きにかかっています。頑張りましょう。期待しています。

結びになりますが、保護者の皆様、ただ今よりお子様を本校の生徒としてお預かりします。私どもは農業教育を通して生涯を力強く、そして人間的に豊かに生きていくための基本的教育に全力を挙げてまいります。しかし、本校の力だけでは、今の社会の急激な変化には対応しきれないものがあります。保護者の皆様との強い連携が是非とも必要です。本校とご家庭が相互に協力して、本校の教育目標をご理解いただき、共通の考えのもと指導することが大切です。私ども教職員は、一丸となって最善の努力をいたす所存でございます。保護者の皆様には本校を信頼いただき、本校の教育推進にご協力賜りますようお願い申し上げます。新入生の逞しい成長と発展を祈念し、祝辞といたします。ありがとうございました。